



Rotary

2016-2017年度

国際ロータリー第2690地区 第3・第4・第5グループ合同

Intercity Meeting Program

「ロータリアンのコミュニケーション力の向上」

開催日：2017年2月19日(日)

場 所：ホ テ ル 一 畑

ホストクラブ
コ・ホストクラブ
コ・ホストクラブ
コ・ホストクラブ
コ・ホストクラブ

松江南ロータリークラブ
松江ロータリークラブ
松江東ロータリークラブ
松江しんじ湖ロータリークラブ
隠岐西郷ロータリークラブ



ロータリーの目的 (Object of Rotary)

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのために
なるかどうか

ロータリアンの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
2. 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
4. ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。

2016－2017年度
国際ロータリーテーマ



人類に
奉仕する
ロータリー

ROTARY SERVING
HUMANITY

ご挨拶



プロフィール

国際ロータリー第2690地区
ガバナー

しょう じ なお ふみ
庄 司 尚 史 (境港RC)

生年月日：1954年（昭和29年）2月17日生

職業分類：セメント販売

事業所：合資会社 第弐商会

〒690-0001 島根県松江市東朝日町198-1

【略歴】	1976年3月	慶応義塾大学法学部 卒業
	1976年4月	I H I 株式会社 入社
	1979年4月	合資会社第弐商会 入社
	1985年4月	ビーハート株式会社 代表取締役 [現]
	1989年6月	米子菱光コンクリート株式会社 代表取締役 [現]
	1992年6月	合資会社第弐商会 代表社員 [現]
	2011年10月	米子地区生コンクリート協同組合 理事長 [現]

【ロータリー歴】	1995年2月	境港ロータリークラブ入会
	2003-2004年度	幹事
	2004-2005年度	副会長
	2011-2012年度	会長
		マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
		ポール・ハリス・ソサエティ
		大口寄付者（レベル1）

【その他】	元日本青年会議所鳥取ブロック協議会会長
	元境港市教育委員
	元境港市代表監査委員
	（一社）淡交会 監事

「第3・第4・第5グループ合同 Intercity Meetingによせて」

第3・第4・第5グループ合同インターシティミーティング（IM）の開催おめでとうございます。ホストを務めていただく松江南ロータリークラブの古志勝俊会長、小村明弘実行委員長には今日までのご準備、ご尽力に感謝申し上げます。IMの主役は3人のガバナー補佐の皆さんですが、クラブ、グループを超えてお集まりいただいたロータリアンの皆さんのための会合です。本日のIMが有意義な会になるよう楽しみにしています。

今年度のジョン・ジャーム国際ロータリー会長は「人類に奉仕するロータリー」をテーマに掲げ、ロータリー財団100周年の節目の年を祝う意味で、ポリオ撲滅を最優先課題としました。みなさんには記念のチャリティーイベントの開催をお願いし、「世界でよいことをしよう」というロータリー財団の理念を再確認し、ポリオ撲滅への協力を呼びかけました。

2690地区として、10月に開催の地区大会で2500名を超える登録を頂戴し、懇親会の席で行った財団100周年記念チャリティーオークションに多大なご協力をいただきました。書家・金澤翔子さんには、特別の計らいで、記念講演の際揮毫された書を、無償でチャリティーに提供いただきました。おかげさまで150万円の落札となり、全額ポリオプラスへの寄付とさせていただきます。今年度も終盤になってまいりましたが、国際ロータリー並びに地区に対してのご協力にガバナーとして感謝申し上げます。

昨年4月の規定審議会で多くのロータリアンが驚くような規定の変更がありました。クラブの裁量権が増え、例会の回数、スタイル、会員の種類など柔軟性を持つことになりました。ジョン・ジャームRI会長は、回数ではなくクラブが地域にどのような変化をもたらすかが大切だと述べています。私も地区スローガンを「地域のため 世界のため」とし、あくまでもクラブが主体であり、元気なクラブにして地域を元気にする力にしましょうと呼びかけました。

この島根県内全クラブが参集するIMで、クラブ間の交流、ロータリアンの友情が広がることを期待しています。あるクラブのスローガンを紹介して結びとします。

「親睦なくして出席なし 出席なくして奉仕なし」

主催者挨拶



国際ロータリー第2690地区
第3グループガバナー補佐

いし くら さだ あき
石 倉 貞 昭

2016-2017年度国際ロータリー第2690地区第3・第4・第5グループ合同インターシティミーティング開催にあたり、主催者を代表して一言ご挨拶を申し上げます。

本年度もIMは第3・第4・第5グループの共催といたしました。即ち、島根県全域をカバーするロータリアンが一堂に会して研鑽し、奉仕の理想の追求と親睦をはかる年1回の大切な行事であります。

当番は第3グループが承り、ホストクラブの松江南ロータリークラブさんには実行委員会を設置して準備を進めていただきました。

今日ここ松江市に庄司尚史ガバナー、松本祐二パストガバナーのご臨席を賜り、多くのロータリアンのご参集を得て開会できます事は無常の喜びであり、心から感謝申し上げます。

さて、今回のIMのテーマは「ロータリアンのコミュニケーション力の向上」とさせていただきました。ロータリーの活動は勿論、家庭においても職場においてもコミュニケーションの重要性については、今更言うまでもありません。

しかし、今日の文明社会では人と人が直接接し合うコミュニケーション力の原点がおろそかになって来ている現実も見受けられます。

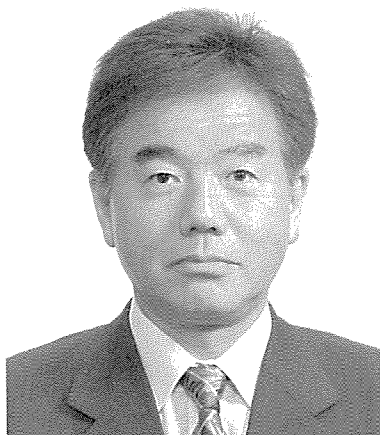
本日は認定NPO法人あしぶえ理事長園山土筆先生による講演と実技を交えた指導により、コミュニケーション力向上を目指したいと存じます。

これは、庄司尚史ガバナーの地区テーマ「地域のため、世界のため」実現に向かって日々活動されているロータリアンの皆様の一助となり、会員増強活動にも役立つツールともなるものと存じます。

ご参加ロータリアン各位におかれましては、どうか楽しみながら積極的に参加していただき、少しでも実りあるIMとなりますよう祈念しております。

終わりにになりましたが、ホストクラブ松江南ロータリークラブ古志会長をはじめ、小村実行委員長ほか関係各位に厚く御礼を申し上げまして私の挨拶とさせていただきます。

歓迎の挨拶



松江南ロータリークラブ

会 長

こ し かつ とし
古 志 勝 俊

ようこそ「水の都」松江にお越しいただき誠にありがとうございます。松江南ロータリークラブ会員一同心より歓迎申し上げます。

I MはIntercity Meetingの略称で、複数の都市のクラブで実施する都市連合会のことです。私なりにI Mの目的を解釈すると、ロータリアンの研鑽の場であり、会員相互の親睦と面識を広めることだと思っています。

2016-2017年度のI Mは、第3・第4・第5グループ合同で開催し、島根県のロータリアンが一堂に会し、本年度のI Mのテーマ「ロータリアンのコミュニケーション力の向上」のもと、認定NPO法人あしぶえ 理事長 園山土筆氏のご指導による、ロータリアンの参加型の研鑽の場といたしました。

今や、SNS等の進歩により、企業内、家庭内でも会話が減り、コミュニケーションが円滑にとれていないのが現状であり、様々な誤解や問題が発生しています。

本日の講演とゲームを通し、ロータリアンの方たちのコミュニケーション力の一助になることを願っております。

そして会議終了後には、ささやかではありますが、心からの親睦の場を設けております。

今回、我が松江南ロータリークラブは12年ぶりのI Mのホストクラブとして会員一同、準備に取り組んで参りました。本日の3グループ合同のI Mが実り多く、より一層の友好の場となりますようお願いまして歓迎の挨拶とさせていただきます。



2016-2017年度
国際ロータリー第2690地区第3・第4・第5グループ合同

Intercity Meeting プログラム

テーマ『ロータリアンのコミュニケーション力の向上』

■開催日：2017年2月19日(日)

■場 所：ホテル一畑

12:15~13:00 登録受付

式典の部 (サンシャインホール)

13:00~13:30	開会セレモニー	司 会	山 本 広 之
	開 会 点 鐘	第3グループガバナー補佐	石 倉 貞 昭
	開 会 宣 言	第4グループガバナー補佐	渡 部 孝
	国歌並びにロータリーソング「奉仕の理想」斉唱		
		ソングリーダー	堀 浩太郎
	ガバナーおよび役員紹介	第3グループガバナー補佐	石 倉 貞 昭
	参加クラブ紹介	第5グループガバナー補佐	須 藤 秀 民
	主 催 者 挨 拶	第3グループガバナー補佐	石 倉 貞 昭
	歓 迎 の 挨 拶	ホストクラブ会長	古 志 勝 俊
	ガバナー挨拶	R I 第2690地区ガバナー	庄 司 尚 史

13:30~15:30 セッション

主 旨 説 明 第3グループガバナー補佐 石 倉 貞 昭

主 題 「コミュニケーション力の向上」

セッション

講 演 「コミュニケーションの壁」

認定NPO法人あしづえ理事長 園 山 土 筆 氏

コミュニケーションゲーム

認定NPO法人あしづえ副理事長 有 田 美由樹 氏

15:30~16:00 閉会セレモニー

ガバナー講評	R I 第2690地区ガバナー	庄 司 尚 史
次期ガバナー補佐紹介	第4グループガバナー補佐	渡 部 孝
次期ガバナー補佐挨拶	次期第3グループガバナー補佐	中 村 寿 夫
	次期第4グループガバナー補佐	岩 永 邦 夫
	次期第5グループガバナー補佐	波多野 諭
閉 会 宣 言	第5グループガバナー補佐	須 藤 秀 民
閉 会 点 鐘	第3グループガバナー補佐	石 倉 貞 昭

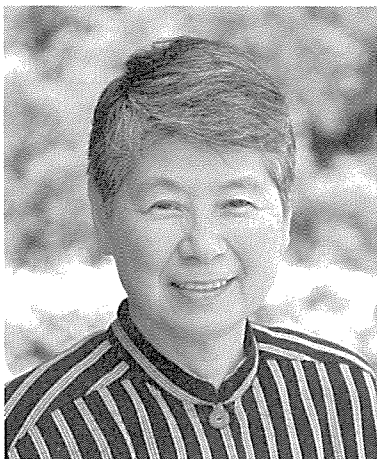
16:00~16:15 休憩・会場移動

懇親会の部 (平安の間)

16:15~17:30	懇 親 会	司 会	寺 本 健太郎
	開 宴 挨 拶	I M実行委員長	小 村 明 弘
	パストガバナー挨拶・乾杯	パストガバナー	松 本 祐 二
	食 事 歓 談		
	アトラクション		B.G.M.
	閉 宴 挨 拶	I M実行副委員長	山 口 章
	ロータリーソング「手に手つないで」		
	ソングリーダー		堀 浩太郎

セッション 主 題 「コミュニケーション力の向上」

【講師】



しいの実シアター・芸術監督
認定NPO法人あしぶえ理事長

その やま つ くし
園 山 土 筆 氏

演出家。日本演出者協会会員。「劇団あしぶえ」を創立し昨年50周年を迎えた。現在は、「認定NPO法人あしぶえ」理事長、演出、劇作、制作を担当し、「演劇はこころの食べもの」として「演劇による人づくり・まちづくり」を進めている。

演出の代表作である「セロ弾きのゴーシュ」は、アメリカ、カナダの3つの国際演劇祭で、「第1席」「演出賞」「観客が選ぶ作品賞」「視覚的舞台表現最優秀賞」を受賞。

国内初の公設民営劇場「しいの実シアター」の基本設計、実施設計に参画し、管理・運営。

西日本の演劇集団やオペラ団体で演出や劇作、島根大学、鳥取大学、島根県立大学短期大学部などの非常勤講師、作陽短期大の特別講師のほか文化庁文化ボランティアフォーラム委員、日本芸術文化振興会審査員、(社)日本照明家協会「協会賞」舞台部門外部推薦委員、島根県総合教育審議会副会長なども務めた。

現在は、「松江・森の演劇祭」(旧称：八雲国際演劇祭)の実行委員長、プロデューサーなどを務め、約300人のボランティアスタッフと共に「演劇による人づくり・まちづくり」を推し進めている。



しいの実シアター・俳優・コミュニケーションワーク講師
認定NPO法人あしぶえ副理事長

あり た み ゆ き
有 田 美由樹 氏

広島市で健常児、障害児の保育士として20年間勤務し、そのうちの17年間は、180キロ離れた島根県松江市のあしぶえに通い、アメリカ、カナダの国際演劇祭にも出場し4つの国際賞も受賞。国内初の公設民営劇場となる「しいの実シアター」完成に伴い松江市八雲町に移住。「八雲国際演劇祭」のアソシエイトプロ

デューサーとして企画・運営にも携わる。1999年から小・中学校、地域の親子、障害児と在宅母子、企業・団体、保育士、助産師の定期研修等のコミュニケーションワークショップ講師も。島根県立大学短期大学部では、前期の「表現とコミュニケーション」の非常勤講師。平成26年度は、102回 4,700人を対象に実施した。

講演 「コミュニケーションの壁」

認定NPO法人あしづえ 理事長 ^{その やま っ ぐし} 園 山 土 筆 氏

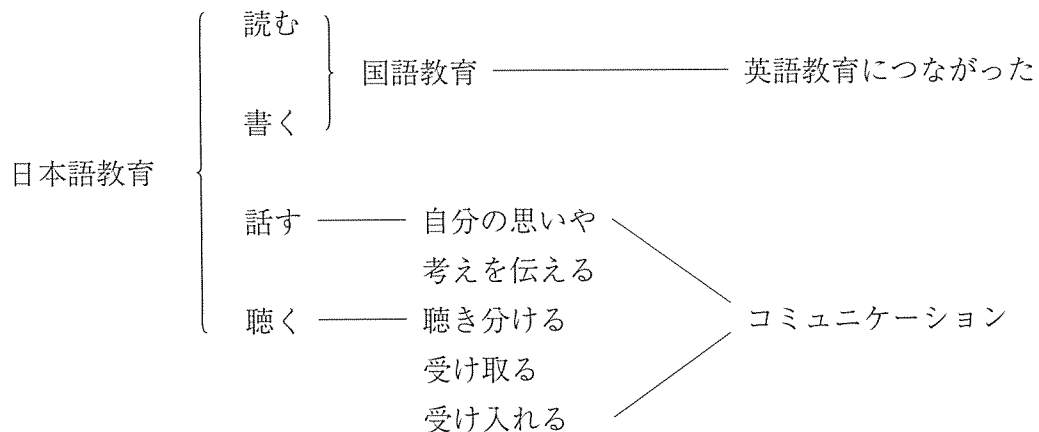
1. 緊張の壁

2. 羞恥の壁

3. 日本文化の壁

- (1) 省略文化 「省略」に価値を見出す日本文化
俳句、短歌、饒舌と寡黙
- (2) 様式文化 「様式美」に価値を見出す日本文化
能、狂言、茶道、華道
- (3) 時間文化 「少しの時間」に価値を見出す日本文化
簡潔な話し方、短い会議
- (4) 地域文化 「出すぎないこと」に価値を見出す日本文化
もの言わぬが安全

4. 国語教育の壁



日本語はヘッドを強く
立てる言葉はどれか

①わたしは ②みずが ③ほしい

5. 非・多文化社会の壁

6. 現代社会のひずみによる壁

- (1) 核家族、共働き、少子化
- (2) ICT革命

コミュニケーションゲームを楽しみましょう

認定NPO法人あしづえ 副理事長 ^{あり た み ゆ き} 有田美由樹氏

本日のねらい

ゲーム① 「どっちにする」

自分で決める 瞬発力 強い声を出す

ゲーム② 「8回ストレッチ」

瞬発力 強い声を出す 笑う

ゲーム③ 「ジェスチャーゲーム」

観察力 表現力

自分が思っているほどには相手に伝わらないことを知る

ゲーム④ 「つくり話交流」

想像力、創造性、表現力、聴く力、楽しむ力

ゲーム⑤ 「茶ーくれ茶ーくれ」

チーム力を高める 強い声を出す 発散する

ハーモニーを楽しむ

※ゲームの内容は変更することがあります。

[illegible]

役員紹介

(敬称略)

国際ロータリー第2690地区ガバナー

庄 司 尚 史

<境港RC>

国際ロータリー第2690地区パストガバナー

松 本 祐 二

<益田西RC>

第3グループガバナー補佐

石 倉 貞 昭

<松江しんじ湖RC>

第4グループガバナー補佐

渡 部 孝

<出雲RC>

第5グループガバナー補佐

須 藤 秀 民

<益田西RC>

次期第3グループガバナー補佐

中 村 寿 夫

<松江RC>

次期第4グループガバナー補佐

岩 永 邦 夫

<大社RC>

次期第5グループガバナー補佐

波多野 諭

<大田RC>

登録者名簿

国際ロータリー第2690地区ガバナー 庄 司 尚 史

第4グループ

平田ロータリークラブ〈23名〉

河 原 治 子	原 泰 久	飯 塚 大 幸	飯 塚 詔 夫
板 垣 文 江	釜 屋 治 男	清 原 正 幸	黒 田 昌 弘
久 家 正 義	榎 野 良 文	持 田 祐 輔	小 汀 泰 之
大 島 卓 爾	大 谷 厚 郎	佐々木 哲 也	清 水 真 史
曾 田 敏 康	杉 原 朋 之	高 砂 明 弘	田 中 浩 史
土 江 光 二	恒 松 克 己	内 田 節 夫	

出雲ロータリークラブ〈51名〉

浅 田 憲 三	小豆澤 貴 洋	飯 島 菊次郎	井 川 幹 夫
石 原 一 徳	今 岡 一 朗	江 角 彰 宣	遠 藤 正 博
遠 藤 充 子	海 田 孝 雄	景 山 州	勝 部 一 郎
嘉 藤 充	菊 池 清	木 佐 明 宏	岸 清 逸
北 尾 慶 子	桐 原 善 行	黒 崎 健一郎	佐 藤 誠 一
佐 藤 大 造	佐 藤 秀 俊	下 手 公 壱	白 澤 明
杉 浦 弘 明	須 佐 建 央	曾 田 文 雄	武 志 俊太郎
谷 本 幸 也	内 藤 輝 一	中 川 正 久	永 島 弘 明
中 筋 豊 通	中 山 真 美	那 須 康 弘	成 相 善 美
日 野 友 晴	日 野 実	廣 田 恵 春	福 間 利 行
福 間 正 純	藤 野 有 弘	布 野 信 之	松 井 修 一
松 崎 太 志	三 吉 庸 善	森 山 宗 浦	矢 野 一 正
山 下 一 也	渡 部 孝	吉 野 直 樹	

出雲中央ロータリークラブ〈45名〉

山 本 幹 雄	阿 川 嘉 明	荒 木 光 治	浅 津 博 行
朝 山 裕	朝 山 一 玄	福 田 健 吉	布 野 規 子
古 瀬 俱 之	日 野 幹 雄	平 田 誠 二	廣 原 俊 平
堀 江 卓 史	池 淵 俊 雄	今 岡 余一良	石 橋 尚 子
石 橋 慶 一	伊 藤 浩	伊 藤 直 子	金 津 初 男
金 山 均	岸 篤 彦	北 脇 樹 二	小 林 和 夫

小 林 敏 行	児 玉 治	宮 本 享	森 山 勝
永 田 数 子	中 村 裕 一	岡 英 司	鬼 塚 史 彦
迫 田 健 司	塩 野 和 正	高 橋 章	高 橋 英 一
鳥屋尾 恭 一	鳥屋尾 征 幹	内 田 政 智	牛 尾 尚 正
山 口 孝 之	山 根 一 生	山 代 裕 始	矢 田 信 一
吉 田 禅 教			

出雲南ロータリークラブ〈33名〉

浅 津 和 人	福 田 康 平	福 代 新 治	儀 満 秀 明
秦 正	伊 藤 禮 嗣	龜 谷 清	金 山 利 行
勝 部 径 司	勝 部 祐 治	川 上 泰 志	槇 野 安 浩
三 島 一 男	三 代 和 鑑	水 谷 厚 志	持 田 隆 治
森 山 育 子	本 常 恵 三	永 田 実	錦 織 正
小 川 敬	小 村 尚 子	佐 藤 大 樹	須 谷 生 男
高 橋 扶 治 夫	高 橋 信 治	竹 下 尚 子	東 儀 君 子
打 田 理 成	山 田 朋 由	山 本 祥 二	山 根 茂
米 原 彰 男			

大社ロータリークラブ〈18名〉

石 田 晴 吾	石 部 厚 夫	岩 永 邦 夫	岩 石 秀 一
小 川 美 樹	小 田 基 明	加 藤 幹 夫	北 島 清 秀
北 島 建 孝	木 村 健 治	曾 田 利 広	北 鶴 見 純 平
西 尾 崇	錦 織 和 雄	山 崎 充 史	山 崎 理 恵
山 根 俊 二	渡 部 稔		

第5グループ

江津ロータリークラブ〈18名〉

石 橋 孝 義	小 松 伸	岡 田 久 樹	和木田 登
砂 田 忠	和 原 勝 博	原 諭	佐々木 啓 之
小 川 泰 道	藤 田 和 雄	三 上 貴 子	佐々木 一 成
鍛 治 恵 巳 子	森 下 幸 生	山 藤 志 哲	平 下 智 隆
押 越 奈 津 紀	室 崎 拡 勝		

浜田ロータリークラブ〈17名〉

茶 円 宥 勝	近 重 勉	江 木 修 二	畑 岡 匡
井 上 公 明	岩 谷 百合雄	森 須 正 孝	大 石 宏 幸
大 崎 寛	佐々木 良 二	須 山 隆	高 橋 功 一
鶴 田 英 也	浦 田 明 彦	山 口 博 正	米 田 直 之
吉 本 晃 司			

益田ロータリークラブ〈19名〉

櫛 山 義 皓	神 一 紀 道	田 原 裕 司	森 本 恭 史
山 根 哲 朗	佐々井 智恵子	右 田 明	矢 富 邦 久
高 橋 和 男	永 島 一 忠	増 野 泰 樹	青 木 正 美
市 原 浩	田 上 尚 志	赤 木 利 光	久 城 恵 治
村 木 繁	松 本 結 衣	廣 兼 重 孝	

益田西ロータリークラブ〈24名〉

松 本 祐 二	田 儀 政 司	須 山 鈴 治	藤 原 博 明
田 原 精 一	松 本 浩 二	澁 谷 勝	能 地 茂 男
佐々木 真 孝	須 藤 秀 民	大 谷 さなゑ	村 上 誠 一
松 倉 慎 治	高 橋 伴 典	鮎 川 春 江	廣 瀬 雄一郎
寺 戸 俊 幸	齋 藤 寿 章	大 畑 勉	尾 木 啓 次
木 村 正 典	栗 本 正 美	浜 崎 裕 治	岩 原 伸 治

大田ロータリークラブ〈13名〉

天 崎 美智子	波多野 諭	平 田 満	石 田 真知子
幸 増 浩一郎	永 野 雅 博	中 村 文 香	小 川 和 邦
岡 本 久美子	齊 藤 寛	棚 岡 正 人	谷 本 隆 臣
田 原 辰 男			

第3グループ

松江ロータリークラブ〈70名〉

浅 原 雄 二	石 飛 博 正	市 井 勇 人	井戸内 義 文
乾 隆 明	井 上 晴 夫	伊 原 正 人	今 井 直 樹
内 田 寛	内 海 康 生	大 谷 公 夫	大 野 光 徳

インターシティ・ミーティング プログラム

尾勝川	崎谷内	俊哲孝	也治一	尾勝河	崎部原	正八誠	史晋郎	小勝後	村部藤	光治秀	寛政勇	加川小	島上林	幸裕祥	夫治泰
小信仙	太田口	淳秀一	夫恭人	杉田辻	井原江	誠泰謙	己彦次	佐杉立	藤原石	仁治公	明範司	妹谷長	尾口岡	尚雅博	士雄則
谷長錦	野織部	真伸泰	久行直	永西原	通村田	烈光正	志康明	中崇原	島井田	治守裕	美平中	多波平	野本井	政敬二	明雄郎
服廣舟	江越江	隆信彰	潤明貴	福古槇	田瀬戸	孝圭昇	誠之一	藤細桵	井田井	重隆隆	一行行	堀松矢	井野	輝裕	彦幸仁
堀三山	輪下			望和	戸田		司	森	岡						

松江東ロータリークラブ〈62名〉

秋月大	廣友聡	施一宏	石今大	原岡塚	武和正	秀志宏	石今尾	本岡脇	郁己司	井裏柿	上辻丸	悟教薫
勝部森	允和啓	裕美俊	勝鐘清	部築原	一良美	亮雄治	門川小	原上藤	夫大吉	金神児	津庭玉	紀宏州
岸古清	満水根	三紀彦	作寿高	野山木	秀秀	樹勉人	佐須田	原藤頭	榮哲健	諏田中	藤訪代	陽文泰
関友永	田瀬田	公裕巳	直中福	井野島	伸崇博	順光滋	長林福	岡田嶋	芳利永	原藤宮	島内田	司光勝
堀原堀	江院岡	美琢昌	松村山	崎岡川	崇博則	信司雄	松物山	部口	宏太郎	矢湯	原	和紀二
弥勒山	田真	磨年治	米田	米田	則雄							

松江しんじ湖ロータリークラブ〈53名〉

秋上	鹿田恭	誠己	池淵江	英保弘	明弘	石倉大	貞内	昭茂	岩田大	田西育	薫恵
----	-----	----	-----	-----	----	-----	----	----	-----	-----	----

岡 敏 和	小 沢 秀 多	尾 添 憲 男	影 山 和 夫
門 脇 玲 子	金 見 邦 明	貴 谷 麻 以	久保田 一 朗
久保田 和 代	小 塚 隆 訓	小 林 幹 久	古 安 正 好
澤 田 淳 二	高 橋 雄 一郎	高 濱 ツヤ子	立 脇 通 也
恒 松 徹	内 藤 允 宏	永 瀬 正 和	中 田 昭 彦
中 村 寿 男	成 澤 多美子	野 津 孝 義	長谷川 逸 子
幡 城 太郎	幡 宏 明	原 稔 子	平 川 和 良
平 野 勝 己	堀 江 知恵美	又 賀 敬 子	松 崎 一 郎
松 本 元 次	溝 本 浩 二	森 田 修 昌	森 山 輝 也
森 脇 宏 之	安 田 和 平	山 口 俊 昌	吉 村 日出国
若 佐 博 之	和 田 史 朗	本 田 晴 男	野々内 政 美
山 本 真 司			

隠岐西郷ロータリークラブ〈6名〉

山 口 清	毛 利 彰	前 川 昌 昭	金 森 通
古 井 康 一	由 木 順		

松江南ロータリークラブ〈68名〉

安 達 亨	安 倍 基 記	荒 木 彰 浩	飯 塚 研 二
池 淵 功 二	石 上 壽 一	石 川 茂 夫	石 丸 文 男
妹 背 俊 紀	江 崎 順 一	大 野 敏 之	小 村 明 弘
景 山 喬 夫	梶 谷 健 一	勝 俣 政 信	門 永 侯 二
門 脇 末 子	川 島 諭 也	菅 野 紘 俊	紀 川 純 三
木 村 靖	楠 信 也	古 志 勝 三	越 野 司 朗
小 西 清 恵	小 西 伸 明	坂 本 知 三	鷗 鷗 瑞 夫
佐 藤 充 男	澁 谷 和 樹	新 宮 正 朗	新 宮 瑞 達
関 谷 忠 之	妹 尾 典 子	高 田 和 一	田 中 本 健 太
田 中 正 彦	谷 本 一 雄	手 塚 安 重	寺 野 島 和 朋
中 澤 洋 三	永 島 健 造	永 原 田 慎 一	野 原 津 弘 也
野 津 邦 光	野々村 健 太	藤 原 秀 博	古 津 田 武
堀 浩 太郎	福 田 航 一	松 崎 健 二	三 安 来 賢 吉
皆 美 佳 邦 章	宮 田 宗 裕 一 國	持 田 裕 良 治	安 山 根 正 行
山 口 本 広 之	山 下 麗 茹	山 和 久 本 光	渡 部 正 行

[illegible]

領 収 証

2017年 2 月19日

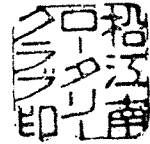
様

¥ 7,000

但し、2016 - 2017年度RI第2690地区
第3・第4・第5グループ合同IM登録料
上記正に領収いたしました

松江南ロータリークラブ

幹 事 石 川 茂 夫



貴クラブ会員出席報告

御芳名

御芳名

所属クラブ名

本日、2016 - 2017年度RI第2690地区 第3・第4・第5グループ
合同IMに出席されましたことを報告いたします。

2017年 2 月19日

松江南ロータリークラブ

幹 事 石 川 茂 夫

本日は、ご参加いただき誠に有難うございました。ご出席の通知は、お送りするのが本位ですが、
お手数ながら各自ご記入の上、処理くださいますようお願い申し上げます。



ロータリーソング

奉仕の理想

奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我等の業
望むは世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永久に栄えよ 我等のロータリー

手に手つないで

1. 手に手つないで つくる友の輪
輪に輪つないで つくる友垣
手に手 輪に輪 ひろがれ まわれ
一つ心に おゝロータリアン
おゝロータリアン

2. 手に手つないで つくる友の輪
輪に輪つないで つくる友垣
手に手 輪に輪 ひろがれ まわれ
世界と共に おゝロータリアン
おゝロータリアン

